

教育通信(令和4年度)



令和4年度のラダーコース発表会が終わりました



レベルⅡ (南1今戸Ns 南1合志Ns 南2前田Ns 北1上田Ns)
「活動量や趣味など患者と共に段階的な目標をたて達成したい」
「表在化している症状の根本的な原因へのアセスメントと支援が課題である」
「退院後の生活を意識した看護の大切さを学んだ」

レベルⅢ (南1坂本Ns 北1木戸Ns)
「状態の変化が早い高齢者に対し、患者家族や他職種との情報共有を行い、退院支援を行いたい」
「確実なアセスメントを行い、明確な問題点を抽出することが重要だと感じた」
「カンファレンスの活用や継続的な分析評価実践を今後も継続していきたい」

レベルⅣ (リフレクション:北2本田Ns 意思決定支援:南1興梠Ns 南1丸岩Ns)
「リフレクションにより、患者、家族のより深い理解に繋がった。自分を客観的に見る視点が重要だと感じた」
「認知症のある患者への意思決定支援に悩んだが、研修を重ねるごとに理解できた」
「患者本人の思いを知ることができた」

専門コース(精神、認知症、重心) (精神:南2宮本Ns
認知症:南2瀧本Ns 重心:北1長尾Ns 北2竹田Ns 北2中山Ns)
「スタッフ間の連携を密に行う事で、患者への興味・関心が深まることに繋がる」
「発表で割ではなく、引き続き継続して何が必要か考えて対応していきたい」

令和4年度 専門コース(精神・認知・重心)
最終発表

日時:令和5年2月10日 14時~15時

場所:会議室

発表者:南2)宮本 温士(精神)『統合失調症への看護(仮)』

南2)瀧本 勇(認知症)『認知症患者の自宅退院に向けた取り組み』

北1)長尾 将之(重心)『トイトレトレーニングの取り組み』

北2)中山 大地(重心)『重症心身障がい児(者)看護における専門職としての視点と支援』

北2)竹田 進(重心)『行動障害のある患者への関わり』



本年度実施の全体研修(看護部)実施内容

「包括的暴力防止プログラム(CVPPP)」←院内・院外:46名参加
「フィジカルアセスメント研修」看護部全体伝達講習「COVID-19 災害派遣活動報告①」「チーム医療:強度行動障害」「COVID-19 災害派遣活動報告②」「西日本認知症高齢者対策研修」「精神看護研修」「実習指導者養成講習会」
レベルⅣ、Ⅴ修了者対象フォローアップ研修「精神科で使用される薬剤」等

令和4年 国立病院総合医学会(熊本)

看護部から5例! 病院全体で10例! 発表しました

ポスター賞受賞! 「脱衣破衣行為のある自閉症患者へのTEACCHプログラムを用いた着衣行動への取り組み」(北1)

